

Ⅷ 誇らしい「都」をつくる 25 南部・東部の振興 (124) 南部・東部の都づくり

これまででは

交流の促進と定住の促進を基本として施策を進めてきました。

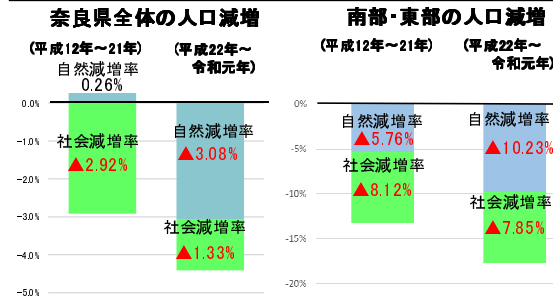
- 【交流の促進(訪れてみたくなる地域づくり)】
 - ＜情報の発信＞
 - ・大手旅行雑誌等への広報
 - ・旅行雑誌「じゃらん」全国版への広告掲載
- 【定住の促進(住み続けられる地域づくり)】
 - ＜暮らしやすくする＞
 - ・奥大和地域の市町村と連携し、地域に寄り添いながら住民の健康を見守る「コミュニティナース」の導入等を推進
 - ・奥大和コミュニティナース養成講座を実施
- ＜移り住んでもらう＞
 - ・移住、二拠点居住及び定住に向けた活動
 - ・奥大和19市町村と連携し、移住相談体制、地域受入体制、移住者拠点施設等を整備
 - ・移住体験住宅のモデルプランを作成
- ＜訪れて、体験してもらおう＞
 - ・奥大和の特色を活かしたイベント事業
 - ・弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース
 - ・温泉街の雰囲気と調和した「音楽祭」の開催
 - ・「MIND TRAIL 奥大和」の開催
- ・大手百貨店との連携プロモーション
 - ・阪神百貨店において、奥大和地域で活動するクリエイターの作品を展示・販売
- ・起業家等が「集まる」「つながる」「育つ」小規模多機能な拠点づくりを推進
 - ・奥大和移住定住交流センターengawaに実験店舗を設置し、複合施設(イベント、展示、ショップ販売、マッチング、移住相談、人材育成等)の実証実験を実施



トレイルランニングレース 音楽祭

奥大和の特色を活かした旅行プランの達成
・JR西日本・近鉄と連携し、個人旅行宿泊プランを達成

移住定住交流センターengawa



もっと良くするために

これまでの取組を一層進めるとともに、新たな戦略として「テーマを定め」、「拠点を形成し」、「拠点を結節する」取組を進めます。あわせて、地域で育成した人材が、引き続き地域内で活躍してもらえるような「人材の育成・確保」も進めます。

拠点の形成	人材の育成・確保
○宿泊観光を核とした拠点づくり	○宿泊観光を担う人材の育成
○スポーツを核とした拠点づくり	○スポーツを担う人材の育成
○「集まる・育てる・つながる」拠点づくり	○「医療・福祉」に関わる人材の育成
○うだ・アニマルパークを活かした拠点づくり	○「集まる・育てる・つながる」人材の育成

令和3年度予算案 282百万円

R3予算案 281,989千円

<取組方針>

「住み続けたくなる、還りたくなる地域づくり(定住の促進)」、「訪れたくなる地域づくり(交流の促進)」、「力強い市町村づくり」を戦略に、雇用の創造や関係人口の創出などの取組を引き続き実施
さらに、若者の流出抑制と流入促進を図るため、「働く場所づくり」、「地域の魅力づくり」の実現に向け、戦術として「拠点の形成」「人材の確保・育成」に取り組み、今後更に進行する急激な人口減少に「総合力」で立ち向かう

(仮称)奈良県南部・東部振興基本計画の推進 (22,827千円)

1 拠点の形成

◆宿泊観光を核とした拠点づくり (125,309千円)

- ・周遊観光を促進するための歩く芸術祭の開催
- ・奥大和とつながりを生む交流イベントの開催
- ・奥大和地域をフィールドとした体験型ツアーの実施
- ・市町村や地域団体と連携した誘客度の高いイベントの開催
- ・映像を活用した魅力発信
- ・鉄道事業者と連携した魅力発信 等

◆スポーツを核とした拠点づくり (10,890千円)

- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催
- ・(新)奥大和地域でのロングトレイル実施のため、コース策定等の実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

◆「集まる・育てる・つながる」拠点づくり (42,780千円)

- ・奥大和地域で作られる家具等を販売する実店舗展開に向けた調査、検討、仕組みづくりの実施
- ・移住・定住、多地域居住を推進するための拠点施設整備を行う市町村への補助 等

◆うだ・アニマルパークを活かした拠点づくり

- ・魅力向上のためのイベントの開催 等 (21,556千円)

2 人材の確保・育成

◆宿泊観光を担う人材の育成 (1,000千円)

- ・持続可能な宿泊施設経営に向けた研修会の実施

◆スポーツを担う人材の育成 <再掲> (10,890千円)

- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催
- ・(新)奥大和地域でのロングトレイル実施のため、コース策定等の実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

◆「医療・福祉」に関わる人材の育成 (6,000千円)

- ・コミュニティナースの育成に係る講座等の実施

◆「集まる・育てる・つながる」人材の育成

(51,627千円)

- ・奥大和での持続可能な地域づくりを学ぶ講座の開催
- ・奥大和地域で活躍する人材を育成する講座の開催
- ・県と奥大和地域19市町村で構成する「奥大和移住・定住連携協議会」において移住・定住に関する人材育成を実施
- ・(新)奥大和地域内の生産者等が異分野人材と協業し、新規事業開拓及び販路拡大を促進するセミナー等を実施
- ・移住や多地域居住を促進する取組を行う地域受入協議会を支援する市町村への補助 等

<問い合わせ先> 知事公室 南部東部振興課 阪口主幹 (0744-48-3015)
奥大和移住・交流推進室 丸岡室長補佐(0744-48-3016)

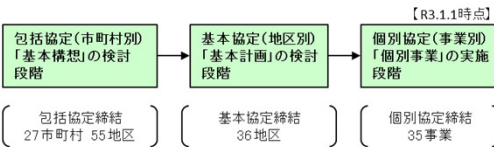
Ⅸ 爽やかな「都」をつくる

～奈良が持つ行政資源を総動員し、
効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、
行き届いた行政サービスを届ける～

区 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (125) 市町村と連携したまちづくりの推進

これまでは

県と市町村との連携まちづくりは3段階で行います。



県が財政支援をします。

- ・ハード事業: 市町村の公債費のうち、地方交付税算入額を差し引いた額の1/4
- ・ソフト事業: 市町村負担額の1/2
- ・まちづくり基本構想・基本計画・立地適正化計画: 市町村負担額の1/2
- ・県有資産の貸付・譲渡: 現行の減額基準を20%かさあげ

まちづくりの類型を分類し、共通の手法を検討します。

- 「手法別」での分類
- ・「駅」6地区
 - ・「駅前」17地区
 - ・「参道」15地区
 - ・「城跡・古墳・伝統的まちなみ等」15地区
 - ・「庁舎等公共施設」15地区
 - ・「公園」10地区
 - ・「病院」14地区
 - ・「インターチェンジ」1地区
 - ・「空き家」9地区
 - ・「農業」7地区

もっと良くするために

新しいまちづくり対象を検討し、市町村とのまちづくり連携協定の対象に追加していきます。

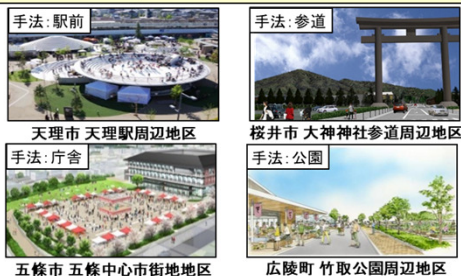
- ・葛城市と(仮称)「南阪奈道路葛城インターチェンジ周辺地区」を対象に、包括協定の締結に向けて協議。

新しい類型のまちづくりを検討します。

(駅施設活用、未利用公有地・公有施設活用)

- ・御所市の「御所中心市街地地区」において、近鉄御所駅、JR御所駅周辺のまちづくりについて検討。

まちづくりの類型(例)



令和3年度予算案 157百万円

R3予算案 157,000千円

まちづくりを進めている市町村と段階的に連携協定を締結し、協働してまちづくりを推進
27市町村(55地区)と包括協定を締結(令和3年1月現在)

<令和3年度の取組>

○個別協定段階の市町村のハード事業への支援

【駅】、【駅前】

- ・JR新駅及び(仮称)奈良ICにおける交通結節点の整備 (奈良市八条大安寺周辺地区)
- ・医大新キャンパスアクセス道路整備 (橿原市医大周辺地区)
- ・近鉄結崎駅へのアクセス道路整備、西口公園整備 (川西町近鉄結崎駅周辺地区)

【参道】

- ・桜馬場整備、サイン整備 (桜井市長谷寺門前町周辺地区)

【城跡・古墳・伝統的まちなみ等】

- ・旧奈良監獄アクセス道路整備 (奈良市奈良公園周辺地区)

【庁舎等公共施設】

- ・桜井中央児童公園再整備、地域交流センター・交流広場整備 (桜井市中和幹線栗殿近隣周辺地区)
- ・新庁舎前の賑わい空間整備 (五條市五條中心市街地地区)

【空き家】

- ・**新** 地域交流拠点・チャレンジサテライトオフィス整備 (東吉野村小川地区)

ほか

○個別協定段階の市町村のソフト事業への支援

【駅前】

- ・アーティスト・イン・レジデンス(天理市天理駅周辺地区)

【城跡・古墳・伝統的まちなみ等】

- ・**新** 与楽古墳群のガイダンス施設等整備 (高取町与楽古墳群周辺地区)

ほか

○包括協定・基本協定段階の市町村の構想・計画の策定への支援

- ・奈良市、橿原市、山添村、斑鳩町、上北山村、その他新規に包括協定を締結した市町村



近鉄結崎駅西口整備イメージ
(川西町近鉄結崎駅周辺地区)



アーティスト・イン・レジデンス事業
(天理市天理駅周辺地区)

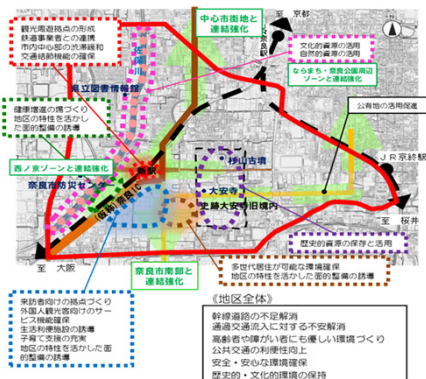
<問い合わせ先>
地域デザイン推進局
まちづくり連携推進課
岸田主幹(内線4311)

Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (126) JR新駅周辺のまちづくり

これまでは

JR新駅周辺(八条・大安寺周辺地区)の整備構想の検討を行っています。

まちづくり基本構想図
(奈良市とのまちづくり連携協定)



もっと良くするために

○AIタウン特別検討会を開催し、コンセプト及び提供する具体的な都市サービスについて検討します。

○令和3年度にまちづくり基本計画を策定し、令和4年度にAIタウン事業計画を策定します。

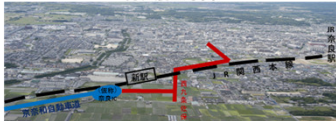
〈都市サービスの例〉



○京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等を整備します。

○奈良市によるJR新駅西口駅前広場整備事業(用地買収等)への支援を行います。

現況航空写真



令和3年度予算案 2,748百万円 [債務負担行為260百万円]
令和2年度2月補正予算案 872百万円

R3予算案 2,748,113千円 [債務負担行為 260,000千円]、R2・2月補正予算案 872,243千円

① AIタウンにおいて提供する具体的な都市サービスや導入施設について検討(15,000千円)

〈スケジュール〉

	県	奈良市
~H31年度		まちづくり基本構想の策定
R1年度	コンセプトの検討	
R2年度	コンセプトの具体化 コンセプト案の策定	
R3年度	コンセプトの確定 具体的な都市サービスや導入施設の検討	まちづくり基本計画の策定
R4年度以降	AIタウン事業計画の策定	

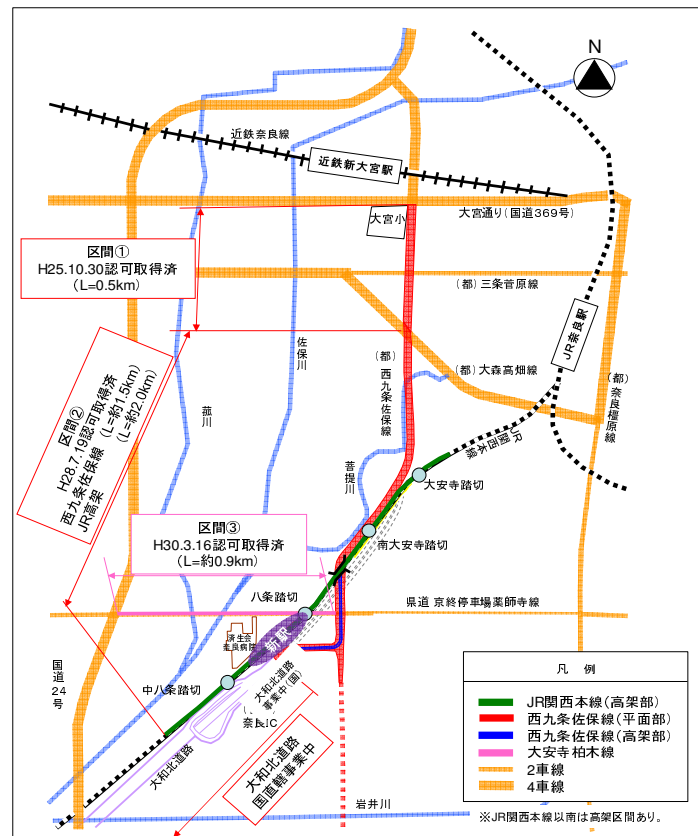
〈都市サービスの例〉

○観光客向けキャッシュレスサービス
⇒宿泊施設のチェックイン、部屋の施錠、買い物、テーマパークへの入場等を全て顔認証で完結

○MaaSを可能とするアプリの導入
⇒出発地から目的地までの公共交通、タクシー、駐車場、自転車等の交通手段を一気通貫で提供するサービス(MaaS)の実現

② 京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等の整備 (2,733,113千円、R4債務負担行為 260,000千円、R2・2月補正予算案 872,243千円)

〈R3の取組〉鉄道高架化工事、用地買収等



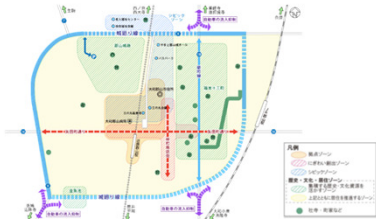
〈問い合わせ先〉

- ① 県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)
- ② 道路建設課 楠本主幹(内線4131)

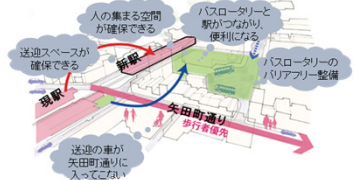
Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (127) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

これまで

近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想図
(大和郡山市とのまちづくり連携協定)



まちづくり基本計画を策定しました。



新駅西側の交通ネットワーク検討の実施に向けて、大和郡山市と個別協定の締結を進めています。

もっと良くするために

必要検討事項

鉄道事業者と、概略設計、事業費算出の調整

スケジュール案

令和3年度の県、市、近鉄3者協定締結、令和4年度に近鉄郡山駅舎移設の事業化を目指します。

- 近鉄郡山駅の移設に係る検討についての補助 (8百万円)
- 近鉄郡山駅周辺の道路予備設計 (6百万円)

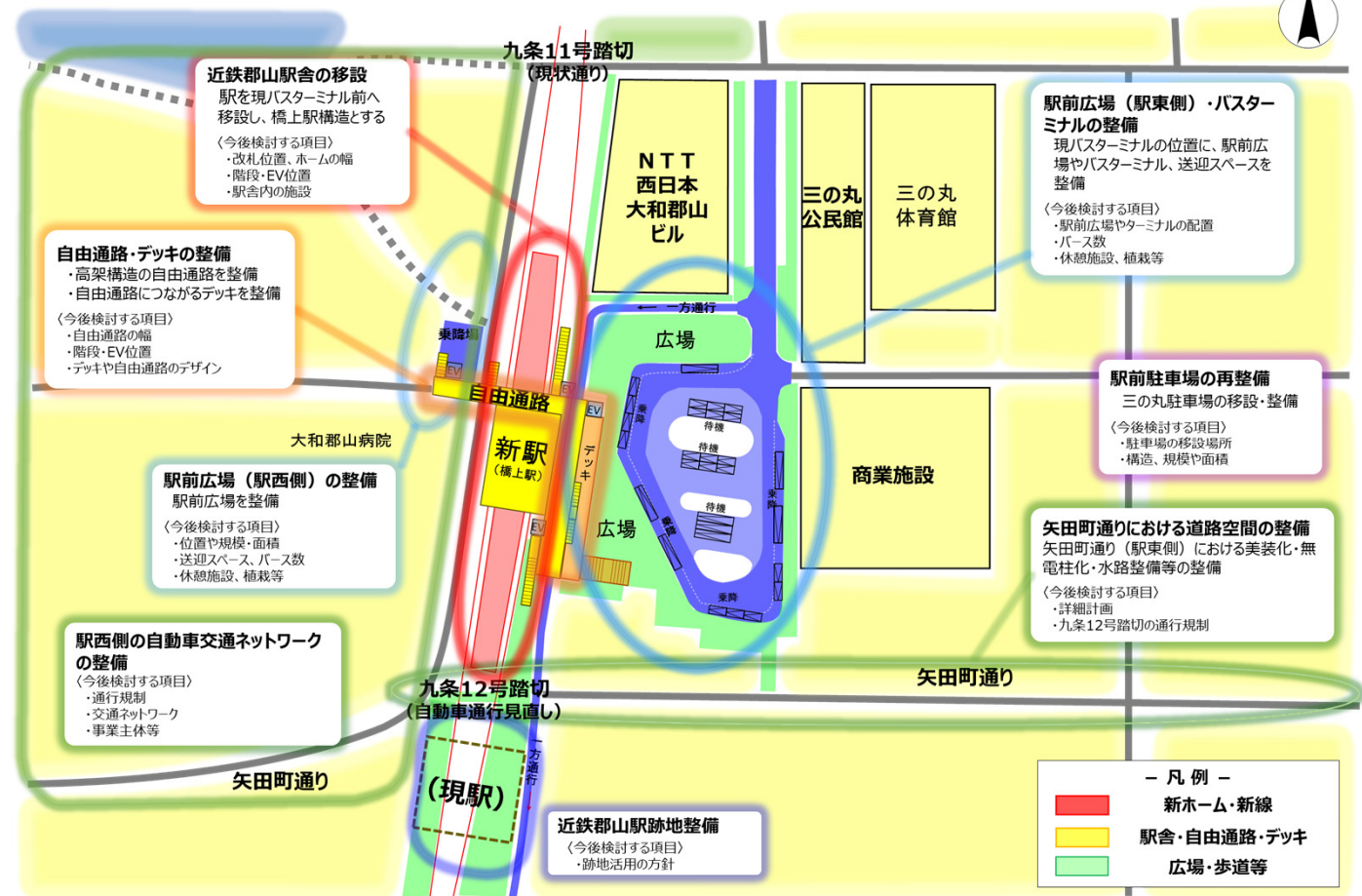


令和3年度予算案 14百万円

R3予算案 13,800千円

- 矢田町通りを含めた近鉄郡山駅周辺道路(駅西側)の駅へのアクセス検討 (6,000千円)
- 近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画に基づく、近鉄郡山駅の移設に係る検討に対する支援 (7,800千円)

<近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画図>



<問い合わせ先>

県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 植田主幹(内線4324)